

作業所物品販売

架け橋 4号

東北作業所 ↔ 尼崎

2012年11月配品

うれしいニュースが届きました

2011年11月10日、第1回の「東北ー関西の架け橋プロジェクト」によるバスが走りました。そのときの東北訪問をきっかけとして、仙台の「被災地障がい者センターみやぎ」を仲介として作業所の物品を買い取り、尼崎のみなさまへの販売事業が始まりました。

そのとき仙台市海岸部にありました「まどか荒浜」のことを知りました。津波を受け作業所が全壊しそれまでの作業ができなくなり、国道より内側で仮住まいのなかで「かいこのまゆ」を使ったおきあがりこぼし「福幸だるま」を自主制作品として販売中でした。この販売は「つながって生まれる絆」のタイトルで読売新聞関西版記事となり、遠くは愛媛からだるまさんの注文が来ました。

仮住まいでは厳しいだろうと心配していましたが、10月到着の品物といっしょに、再建なった「まどか」のパンフレットとホームページ紹介が同封してありました。社会福祉法人円の運営として「障害者就労支援多機能型事業所」、総工費3億円をかけての平屋建ての日差しの良く入る白が基調の建物です。復興予算よりの補助があるとはいえ、多額の建設資金の見通しは容易ではなかっただろうと推測します。

8月にはベーカリー・カフェ・ブランが開店したそうです。ゆったりとしたスペースでアートギャラリーや音楽界が開かれる予定のようです。

復興をかけたネーミング「福幸だるま」は大事な製品として作られており、小正月の飾り物「まゆだま」も売られています。

活動目標に「地域住民交流」が挙げられており、広い敷地内での野菜の栽培と販売、音楽会などの催しの地域への開放が企画に上がっています。

販売支援活動としては「福幸だるま」の紹介と販売を続けますので、ご注文ください。よろしくお願ひします。

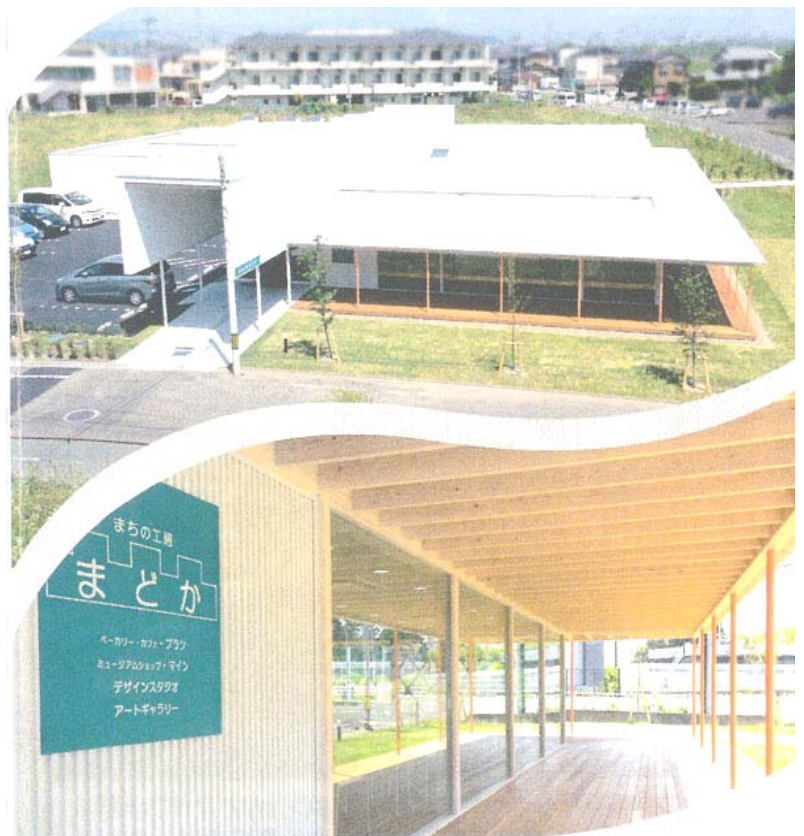
「白い館 まちの工房 まどか」

宮城県仙台市太白区袋原4丁目37-1

TEL 022-302-4620

ホームページアドレス：

<http://www.madoka-sendai.jp/>



宮城の障害者作業所の物品を注文ください

作業所名	商品名	単価	写真
<p>麦の会</p> <p>仙台市宮城野区松岡町</p>	<p>バタークッキー （北海道産よつ葉のバター使用 のプレーンクッキー）</p>	350 円	
<p>パンとクッキーの店</p> <p>就労継続支援B型事業所</p>	<p>ごまクッキー （白ごまがたっぷり入った甘さ 控えめの香ばしいクッキー）</p>	350 円	
<p>多夢多夢舎中山工房</p> <p>仙台市青葉区中山2丁目</p> <p>レストラン「食香房たむ たむ亭」も運営</p>	<p>あじ味噌 （田楽味噌やふろふき大根、焼き おにぎりに。少しあぶると香ばし さが）</p>	500 円	
<p>就労継続支援B型事業所</p>	<p>ポストカード （お米の紙の袋を材料として作 りました）</p>	1 枚 150 円	
<p>まどか</p> <p>津波で全壊、仮作業所仙 台市ワークキャンパスよ り再建移転 新住所＝仙台市太白区 袋原4丁目37-1</p> <p>就労支援多機能型事業所</p>	<p>福幸だるま（ふっこうだるま） 直径10cmのかご入り</p>	600 円	

<p>工房地球村 宮城県亙理郡山元町真庭 字名生東</p>	<p>いちご物語（手ぬぐい） 朝採りイチゴジャムが農家の 被害でできなくなり、手作りで染 めた手ぬぐいです。</p>	<p>1枚 1050円</p>	
<p>山元町社会福祉協議会共 同作業所</p>	<p>いちご物語（せっけん） 地球村手作りです。</p>	<p>1個 350円</p>	
<p>ぎんの星 宮城県東松島市矢本字太 子前</p>	<p>乾燥しいたけ(25g)</p>	<p>300円</p>	
<p>はらから福祉会 宮城県登米市迫町新田字 山居</p>	<p>ごぼうかりんとう （厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。）</p>	<p>350円</p>	
<p>13の施設作業所を運営 就労移行・就労継続支援 B型事業所</p>	<p>エビかりんとう （厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。）</p>	<p>350円</p>	
<p></p>	<p>青のりかりんとう （厚手の鉄鍋でじっくり焙煎。香 ばしい味が楽しめます。）</p>	<p>350円</p>	

再建のともしび、2つの作業所物品

まどかの「福幸だるま」

「廃墟の中から フェニックスのように立ち上がり、人生を切り開く気概を奮い起こせ、と願いを込めて、ひとつひとつ丁寧に作られました」(商品しおりから)

まゆ玉をつかった起き上がりこぼしで、ひとつひとつ手作りで作られています。ですので表情が少しずつ違ってきます。

だるまの色に、それぞれ

「赤」：開運・大願成就 「緑」：健康・家内安全「黄」：豊穰・金運 の願いが込められています。



工房地球村の「手づくりいちごジャム」

「工房地球村」のあります山元町の130軒中120軒のいちご農家が、震災で被災しました。それまで個人で栽培していた農家は高齢化もすすみ、一人ひとりの力ではなかなか再開はできません。工房地球村で制作していた「イチゴジャム」も生産がストップしました。

そのとき工房地球村のスタッフだった橋元さんが、いちご産業へのチャレンジを始めました。そのイチゴや生産を再開し始めた地元の農家の方々からのいちごの提供で、2年ぶりに工房地球村のジャムづくりが始まりました。そして施設を再開した5月9日からちょうど1年目、2012年の5月9日。震災後初めて、地球村こだわりジャムが出来ました。

工房地球村のジャムはとってもしっかりあります。加工用のいちごではなく、いちご狩りで食べるような大粒の新鮮ないちごだけで作るのです。約300グラムのいちごを180グラムになるまで、2時間かけて熟練のメンバーが煮詰めます。品質も作り方も妥協しません。

今年は限定750個、価格735円。すぐに完売しました。

来年は5月-7月の期間限定販売です。

みなさまどうぞ応援よろしくお願ひします。

工房地球村ホームページより <http://kobo-chikyumura.com/>



宮城県亘理郡山元町真庭字名生東

山元町社会福祉協議会共同作業所「工房地球村」

東北被災地作業所物品販売事業

NPO 法人尼崎障害者センター

〒660-0063 尼崎市大庄北3丁目25番1-104号

受付電話番号 090-8793-2133

ファックス専用番号 06-6418-1342

ホームページ <http://hanbaikakehashi.jimdo.com/>

